

111 番の歌 喜びはあふれる

みんなでエホバを崇拝できるのは幸せなこと

「私が創造しているものについて歡喜し、永遠に喜びなさい」。イザヤ 65:18

ポイント：みんなでエホバを崇拝できるのは素晴らしいといえるのはどうしてか、ほかの人にも加わってもらうために何ができるかを学びます。

1. 今、どんなパラダイスが存在していますか。そこにいる人たちはどう感じていますか。

この地球には、パラダイスともいえる素晴らしい環境があります。そこでは何百万もの人たちが平和を楽しんでいます。そこにいる人たちは、このパラダイスから出ないことを決意しています。そして、できるだけ多くの人に加わってほしいと思っています。このパラダイスとは何のことでしょうか。それは、エホバを崇拝するための特別な環境を表しています。そこでは、エホバと仲間との平和な関係を楽しむことができます。

2. 今、パラダイスのような環境があることが貴重だといえるのはどうしてですか。

2 サタンはこの世界を憎しみと悪意に満ちた危険な場所にしています。（ヨハ一 5:19 私たちが知っている通り、私たちは神から出ていますが、全世界は邪惡な者(c*サタンのこと)の支配下にあります。啓 12:12 それで、天とそこに住む者たち、喜びなさい！ 地と海には災いが降り掛かります。悪魔が、自分に残された時間が短いことを知り、大きな怒りを抱いてあなた方の所に下ったからです）一方、エホバはご自分に仕える人を愛しているので、私たちが安心して崇拝を行えるように、パラダイスのような環境を整えています。聖書にもこの環境のことが、安全な「避難」場所、「よく潤っている庭園」と表現されています。（イザ 4:6 また、昼の暑さをしのぎ、嵐や雨から避難するための仮小屋が建てられる。: 58:11 エホバは常にあなたを導き、乾き切った土地でもあなたを十分に世話し、元気づける(d*あなたの骨に力を与える)。あなたはよく潤っている庭園のようになり、水が枯れることのない泉のようになる）このパラダイスにいる人たちは、大変な終わりの時代にも、エホバのおかげで安心して幸せでいることができます（イザ 54:14 あなたは正しさによってしっかりと据えられる。圧迫から遠く離れ、何も恐れず、おびえることもない。恐怖を抱かせるものがあるあなたに近づくことはない。テモ二 3:1 このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります

3. イザヤ 65 章の預言は、古代にどのように実現しましたか。

3 エホバはこのパラダイスに住む人たちがどんな生活をするようになるかについて、預言者イザヤに書かせました。それはイザヤ 65 章に記録されています。この預言は紀元前 537 年に最初に実現しました。その時、生き方を改めたユダヤ人はバビロンでの捕らわれから解放され、故国に戻ることができました。エホバはご自分の民のことを喜び、荒れ果てていたエルサレムをもう一度美しい都市に戻せるように助けました。また、イスラエルでの真の崇拝の中心地だった神殿も修

復できるように助けました。(イザ 51:11 エホバに救い出された(d*買い戻された)人たちが帰ってくる。歓声を上げながらシオンに来る。いつまでも続く喜びが彼らの冠となる。彼らは歓喜にあふれ、悲しみやため息は逃げ去る。ゼカ 8:3 「エホバはこう言う。『私はシオンに戻り、エルサレムに住む。エルサレムは真実(*忠実)の都市と呼ばれ、大軍を率いるエホバの山は聖なる山と呼ばれることになる』」)

4. イザヤ 65 章の預言は、現代にどのように実現していますか。

4 この預言は現代にも実現しています。1919 年に、エホバに仕える人たちは大いなるバビロンから解放されました。その後、エホバを安心して崇拝できる環境が世界中に広がっていきました。人々は王国について熱心に伝え、各地にたくさんの会衆ができました。以前は暴力的で不道德な行いをしていた人たちも、「神の意志に沿って形作られる」「新しい人格を身に着け」るようになりました。(エフエ 4:24 そして、新しい人格を身に着けましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づいています) イザヤの預言に書かれているたくさんの素晴らしいことは、将来新しい世界で文字通り実現することになっています。でも、今でもそのうちの幾つかを楽しむことができます。①今みんなでエホバを崇拝することから、私たちはどんな素晴らしい経験をしているのでしょうか。②この特別な環境から離れるべきではないのはどうしてでしょうか。

どんな素晴らしい経験ができるか

5. イザヤ 65 章 13 節で約束されていた通り、私たちは今どんな良いことを経験していますか。

5 十分に養われ、爽やかにされる。イザヤは預言の中で、エホバを崇拝する人たちとそうでない人たちの違いについて書いています。(イザヤ 65:13 そのため、主権者である主エホバはこう言う。「私に仕える者たちは食べるが、あなたたちは飢える。私に仕える者たちは飲むが、あなたたちは喉が渇く。私に仕える者たちは喜ぶが、あなたたちは恥をかくを読む。)

私たちには聖なる力、聖書、出版物など、エホバとの絆を強くするために必要なものがたくさん与えられています。それで、私たちは「食べ」、「飲み」、「喜ぶ」ことができます。(啓示 22:17 聖なる力(*)によって花嫁は、「来なさい!」と言いつける。それを聞く人も、「来なさい!」と言いなさい。喉が渇いている人は来なさい。命の水が欲しい人は、無償で飲みなさい。と比較。) それとは反対に、エホバを崇拝しない人たちは、「飢え」、「喉が渇き」、「恥をかき」ます。エホバと親しくなることができず、心が満たされていないからです。

(アモ 8:11 主権者である主エホバは宣言する。『私がこの土地に飢饉を送り込む時が来る。パンの飢饉でも水の枯渇でもない。エホバの言葉の飢饉である)』

6. ヨエル 2 章 21-24 節によると、エホバは私たちにどんなものを与えてくださっていますか。私たちはそれを受け取ってどう感じていますか。

6 ヨエルは、必需品である穀物やぶどう酒やオリーブ油が豊かに供給される、と預言しました。それは、エホバがご自分に仕える人たちに、信仰を強めるために必要なものを惜しみなく与えることを示すものでした。(ヨエ 2:21-24 大地よ、恐れるな。喜び、歓喜せよ。エホバは偉大なことを行うからだ。22 野原の動物たちよ、恐れるな。荒野の牧草地は緑になる。木々は実を付ける。イチジクの木もブドウの木

も豊かに実る。23 シオンの子たち、エホバ神のことで喜び、歓喜せよ。神は秋の雨を程よく降らせる。あなたたちに豊かな雨を与える。秋の雨と春の雨を、以前のように。24 脱穀場は穀物でいっぱいになり、搾り場は新しいぶどう酒と油であふれる) 今エホバは聖書や出版物、ウェブサイト、集会、大会などを通して、まさにそうしてくださっています。私たちは信仰を強める食物を毎日受け取ることでできているので、十分に養われ、爽やかにされています。

7. 私たちの「心が晴れやか」でいられるのはどうしてですか。(イザヤ 65:14)

7 幸せで満ち足りた気持ちでいられる。エホバに仕える人たちは、エホバへの感謝の気持ちにあふれて「喜んで叫び」ます。(イザヤ 65:14 私に仕える者たちは心が晴れやか(*良い状態)なので喜んで叫ぶが、あなたたちは心が痛むので叫び声を上げ、意気をくじかれて泣きわめくを読む。) 聖書の教えや慰めとなる約束、キリストの贖いに基づく希望によって、「心が晴れやか」になります。こうしたことを兄弟姉妹と話す時に、私たちは本当にうれしくなります。(詩 34:8 エホバが善い神であることを味わい知れ。神のもとに避難する人は幸せだ: 133:1-3 兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう。2 頭に注がれる上等の油が、顎ひげに流れ落ちるかのようだ。アロンの顎ひげに、アロンの服の襟に。3 ヘルモンの露が、シオンの山々に降りるかのようだ。エホバはシオンで与えると約束した。永遠の命という祝福を)

8. エホバを崇拝する人たちには、どんな際立った特徴がありますか。

8 エホバを崇拝する人たちの間には、愛と一致という際立った特徴があります。この「絆」は、新しい世界での生活がどんなものになるかをイメージする助けになります。(コロ 3:14 これら全てに加えて、愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです) 将来、エホバに仕える人たちの愛や一致はさらに強くなっていくことでしょう。ある姉妹は、エホバの証人に初めて会った時のことについてこう言っています。「どうすれば幸せになれるのか分かりませんでした。家庭の中でもそうでした。エホバの証人の間では愛が生き生きと示されていました。そのような愛を見たのは初めてでした」。本当の幸せを味わいたいと思うなら、エホバを崇拝する人たちの仲間に加わって、自分でそれを味わう必要があります。世の中の人はどう思われたとしても、兄弟姉妹から愛され、エホバから良い評判を得られるということを忘れないでください。エホバは「自分に仕える者たちを別の名で呼」んでくださるのです(イザ 65:15 あなたたちが残す名は、私が選んだ者たちが災いを願う際に使われる。主権者である主エホバはあなたたち一人一人を死に至らせるが、自分に仕える者たちを別の名で呼ぶ

9. イザヤ 65 章 16、17 節によると、私たちが今経験している苦しみや悲しみはどうなりますか。

9 穏やかな心でいられる。イザヤ 65 章 14 節 私に仕える者たちは心が晴れやか(*良い状態)なので喜んで叫ぶが、あなたたちは心が痛むので叫び声を上げ、意気をくじかれて泣きわめくによると、エホバを崇拝していない人たちは「心が痛む」ので叫び声を上げ、意気をくじかれて泣きわめきます。もちろん、神に仕える人たちも心が痛むことやつらい経験をすることがあります。でも、そうしたものはやがて「忘れられ、[神]の目から隠され」ます。(イザヤ 65:16, 17 地上で祝福を求める者は、真実の(*信頼できる/d アーメンである)神によって祝福され、地上で誓いを立てる者は、真実の(*信頼できる/d アーメンである)神に懸けて誓う。以前の苦難(*問題)は忘れられ、私の目から隠される。17 私は新しい天と新しい地を創造している

。以前の事柄は思い出されることも、心に浮かぶこともないを読む。) エホバは私たちの問題を全て取り除き、つらい記憶も全て消し去ってくださるのです。

10. エホバの家族の一員でいられるのはどうして素晴らしいといえますか。(写真も参照。)

10 今でも、集会へ行くと、この悪い世の中で経験するいろいろなストレスを忘れて心が穏やかになります。私たち一人一人はこうした温かい雰囲気にご貢献できます。愛や喜び、平和、親切、温和といった聖なる力が生み出すものを表すように努力することによってです。(ガラ 5:22, 23)

方、聖なる力(*)が生み出すもの(d*実)は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。このようなものを否定する律法はありません) エホバの温かい家族の一員になれるのは本当に素晴らしいことです。この家族の中にとどまっているなら、「新しい天と新しい地」に関するエホバの約束が完全に実現するのを見ることができるでしょう。



温かいエホバの家族の中にいられるのは幸せなこと。(10 節を参照。)

*写真や挿絵: ほかの兄弟姉妹が集会で会話を楽しんでいる中、1 人の兄弟は輪に加わろうとしていない。

11. エホバが私たちのために素晴らしい環境をつくってくれたことを考えると、どんな気持ちになりますか。(イザヤ 65:18, 19)

11 喜びを味わえる。イザヤは続けて、私たちが「歓喜し、……喜」べる理由について書いています。エホバを崇拝するこの素晴らしい環境は、エホバがつくったものです。(イザヤ 65:18, 19) 私が創造しているものについて歓喜し、永遠に喜びなさい。私はエルサレムを喜びのもととして、住民を歓喜のもととして創造しているのである。19 私はエルサレムについて喜び、私の民について歓喜する。その都市の中で泣き声や苦悩の叫びが聞かれることはなくなるを読む。) エホバは私たちを用いて、うそを教えられてきた人たちがエホバの家族に加われるように助けています。私たちは、エホバの家族の中でたくさんの喜びを味わっています。そして、ほかの人たちにもぜひこの喜びを味わってほしいと思います。

(エレ 31:12) 人々は来て、シオンの山で歓声を上げ、エホバからの良いもの(*エホバの善い行い)のゆえに顔を輝かせる。穀物、新しいぶどう酒、油、若い羊や牛について喜ぶ。彼らはよく潤っている庭園のようになり、二度と弱り果てることはない)

12. イザヤ 65 章 20-24 節にある約束を読むと、どんな気持ちになりますか。どうしてですか。

12 私たちはエホバとの絆があるおかげで、将来の素晴らしい希望を持つことができます。これは本当にうれしいことです。エホバが約束している新しい世界でどんなことが実現するか考え

てみてください。聖書によると、「**数日しか生きない乳児も、寿命を全うしない老人もいなくな**」ります。私たちは「**家を建てて住み、ブドウ園を造って実を食べ**」ます。「**エホバに祝福され**」、「**無駄に労苦することはなく**」になります。**安心**して、**目的のある充実した人生**を送ることができます。エホバは**私たちが「呼び掛ける前」**から、**私たちにどんなものが必要かを知**ってくれています。そして、「**生きている全てのものの願いをかなえ**」てくださいます。(イザ 65:20-24
そこには、数日しか生きない乳児も、寿命を全うしない老人もいなくなる。罪人は100歳であっても災いを受け
(if*100歳に達しない者は災いを受けたと見なされ)、100歳で死んだ者も少年と見なされるのである。(死ぬことではなく、長生きすることを強調) 21 人々は家を建てて住み、ブドウ園を造って実を食べる。22 建てた家に他人が住むことはなく、植えた物を他人が食べることもない。私の民の寿命は木の寿命のようになり、私が選んだ者たちは働く喜びを存分に味わう。23 彼らは無駄に(*無意味に)労苦することはなく、生まれる子たちが苦しむこともない。彼らとその子孫は、エホバに祝福された民だからである。24 彼らが呼び掛ける前に私は答え、彼らがまだ話しているうちに私は聞き入れる。詩 145:16 あなたは手を開いて、生きている全てのものの願いをかなえる)

13. イザヤ 65 章 25 節によると、エホバに仕える人はどのように変化しますか。

13 **平和を楽しむことができる。**以前は**気性が荒**かったものの、**聖なる力の助け**によって**大きく変化**してきた人は**たくさん**います。(イザヤ 65:25 オオカミと子羊と一緒に食べ、ライオンは雄牛のようにわらを食べる。蛇は土を食物とする。これらは私の聖なる山のどこにおいても、荒らしたり危害を加えたりしない」と、エホバは言うを読む。) そうした人たちは、**自分の良くないところ**を直すために**一生懸命努力**しています。(ロマ 12:2 そして、今の体制によって形作られるのをやめてください。かえって、考え方を新しくすることによって自分を変化させましょう。それは、神の善い意志、喜ばしい完全な意志を見極めるためです。エフエ 4:22-24 皆さんは、古い人格を脱ぎ捨てるようにと教えられました。その人格は、以前の生き方に基づくもので、悪い欲望に引きずられて腐敗していきます。23 **考え方(*精神的傾向)を新しくする努力**を続けましょう。24 そして、**新しい人格を身に着け**ましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、**本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づ**いています) **みんな完璧ではない**ので**失敗**することもあります。でもエホバは、**愛という強い絆**によって「**あらゆる人**」を**一つの家族にし**、私たちが**平和を楽しめるように**してくださっています。(テト 2:11 神の惜しみない親切が明らかに示され、あらゆる人に救いがもたらされています) これは**全能の神にしかできない奇跡**です。

14. ある兄弟の例から、イザヤ 65 章 25 節がその通りであることがどのように分かりますか。

14 人が**生き方を変える**ことなんて**本当にできる**のでしょうか。**ある若い男性**の経験を考えてみましょう。この人は**暴力的**で、**性的に不道德**な生き方を送っていて、**20 歳になるまでに刑務所**に何度も入れられていました。**車や物を盗み、大きな犯罪**を犯したためです。いつも**けんかばかり**していました。でも、**初めて聖書の真理を聞**いて、エホバの証人の**集会に出席し始**めた時、この男性は**人生の目的を見つけた**と**思**いました。そして、バプテスマを受けて**エホバの証人になり**ました。兄弟は自分に起きたことを振り返り、イザヤ 65 章 25 節 オオカミと子羊と一緒に食べ、ライオンは雄牛のようにわらを食べる。蛇は土を食物とする。これらは私の聖なる山のどこにおいても、荒らしたり危害を加えたりしない」と、エホバは言うが**その通りである**ことを実感しています。**ライオンのように暴力的**だった自分が、**羊のように平和を愛する人**に**変わった**からです。

15. ほかの人にもエホバの家族に加わってほしいと思うのはどうしてですか。そのために何ができますか。

15 イザヤ 65 章 13 節 そのため、主権者である主エホバはこう言う。「私に仕える者たちは食べるが、**あなたたちは飢える**。私に仕える者たちは**飲む**が、あなたたちは**喉が渴く**。私に仕える者たちは**喜ぶ**が、あなたたちは**恥をかく**は、「**主権者である主エホバはこう言う**」という言葉で**始まっています**。そして 25 節 は、「**とエホバは言う**」という言葉で**終わっています**。**エホバが約束**したことは**必ずその通りになります**。（イザ 55:10, 11 **雨や雪は天から降り注ぎ**、地を潤し、芽を出させて作物を生じさせ、種をまく人に種を与え、食べる人にパンを与える。それまでは天に戻らない。同じように、11 私の口から出る言葉も、**成果を収めずに私のもとに戻ることはない**。必ず私の望むこと(*喜ぶこと)を成し遂げ、私が託した使命を確実に果たす) 私たちは**すでに**、**兄弟姉妹と一緒に安心**して**エホバを崇拝**できています。**暴力があふれた世の中でも平和を楽しめている**のは本当に**特別**なことです。（詩 72:7 **王が治める間、正しい人たちは幸せに暮らし**(d*は芽生え)、**平和が行き渡る**。月がなくなる時まで) 私たちは、**できるだけ多くの人にエホバの家族に加わってほしい**と思っています。それで、**人々を弟子とする活動**を**一生懸命**に行います。（マタ 28:19-20 **それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい**。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです）

エホバの家族に加わりたいと思ってもらうためには

16. 人々はエホバの家族にどのように引き寄せられますか。

16 **エホバの家族に加わりたいと思ってもらう**ために、私たち**一人一人が貢献**できます。**ぜひエホバに倣い**ましょう。エホバはご自分の組織に**無理やり加わらせる**ことは**しません**。**優しく「引き寄せ」**ます。（ヨハ 6:44 **私を遣わした父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません**。私はその人を終わりの日に復活させます。エレ 31:3 **遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた**(*あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた)のである) **心の正しい人は、エホバの愛情深くて魅力的な性格**について知ると、自然とエホバに**引き付けられます**。私たち**自身も魅力的な人になるよう努力**し、**良いことを行う**なら、エホバの家族に**加わりたいと思ってもらえる**でしょう。では、**具体的にどんなことができる**でしょうか。

17. どうすれば、人々をエホバの側に引き寄せることができますか。

17 仲間の**兄弟姉妹に愛や親切を示す**なら、人々を**エホバの側に引き寄せる**ことができます。古代コリントの人たちは、クリスチャンが集まっている様子を見て、「**神は確かに皆さんの中にいます**」と言ったようです。（コリ 14:24, 25 **しかし、皆さんが預言している時にクリスチャンではない人や普通の人が入ってきたなら、その人は皆から戒められて詳しく調べられたと感じます**。25 **そして心の中の秘密が明らかに**なり、その人はひれ伏して神を崇拝し、「**神は確かに皆さんの中にいます**」と言います。ゼカ 8:23 **大軍を率いるエホバはこう言う。『その時、あらゆる言語の国々から来た 10 人の人が、1 人のユダヤ人の長い服(*服の端)をつかむ。しっかりつかんで、「あなたたちと一緒に行かせてほしい。神があなたたちと共にいる、と聞いたからだ』**と言う』) 私たちも、**新しい人が集会にやってきた時に同じように感じてほしい**と思います。

それで、「誰とでも平和な関係でいる」ことはとても大切です。（[テサー 5:13](#)そして、よく働いてい
るその人たちに愛と深い思いやりを示してください。誰とでも平和な関係でいるようにしましょう）

18. どんなことも努力できますか。

18 兄弟姉妹に対してエホバと同じ見方をするように努力しましょう。やがてなくなる欠点や短所ではなく、良いところに注目することができます。「親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、……寛大に許し合[う]」ことも大切です。このように愛を示すなら、誤解やすれ違いが生じた時にも平和に解決できます。（[エフエ 4:32](#)親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょう）人々は温かくて安心できる雰囲気を見て、エホバの家族に加わりたいと思うことでしょう。[*jw.org](#)の「あの人は今 アレナ・ジトニコバ:わたしの夢はこうして実現した」という動画をご覧ください。姉妹は、エホバに仕えることからどんな幸せを味わっているかを語っています。

“パラダイス”にとどまるようにしましょう

19. (ア) 再び仲間と一緒にエホバを崇拝するようになった人たちはどう感じていますか。（「[エホバのもとに帰ってきた人たち](#)」という囲みを参照。）（イ）あなたはどんなことを決意していますか。（挿絵も参照。）

19 私たちは、パラダイスのような素晴らしい環境でエホバを崇拝することができます。そのことに本当に感謝できます。ますます多くの人が集められ、“パラダイス”はいっそう美しくなっています。誰でも爽やかさや幸福感や安心感を味わいたいなら、エホバの家族の一員に加わり、そこにとどまる必要があります。サタンは私たちをそこからおびき出そうとして躍起になっていますが、決してそうさせてはいけません。（[ペテ 5:8](#)頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探しています。[啓 12:9](#)こうして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪悪な天使たちも共に投げ落とされた）この美しくて平和なパラダイスを離れず、これからもみんなでエホバを崇拝していきましょう。



仲間と一緒にエホバに仕え続けるなら、将来パラダイスになった地球で生活を楽しむことができる。（19節を参照。）

エホバのもとに帰ってきた人たち

- ジューンはしばらくの間、集会や奉仕を休んでいましたが、やがてエホバのもとに帰ってきました。こう言っています。「エホバに仕える人たちとまた共にいることができて、本当に爽やかでした。……つくづく思うのは、仲間から離れて自分の力だけでやっていくことはできない、ということです。戻ってくる時間がまだあったことを本当に感謝しています」。
- キンバリーは約 40 年排斥されていました。こう言っています。「エホバに仕える友達はいなくなり、信仰を強めてくれるものもありませんでした。……気分がとても落ち込み、孤独でした」。でもキンバリーは生き方を改め、2021 年に復帰しました。こう言っています。「今では、エホバが私の祈りを聞いて答えてくださっていることがよく分かります。……信頼できる人たちとまた一緒にいることができ、本当にうれしいです」。姉妹は聖なる力に頼り、聖書を定期的に学ぶことによって、エホバとの絆を強め、幸せを味わっています。
- ジョンは 20 年以上排斥されていました、エホバのもとに戻ってきました。こう言っています。「私は聖書の教えも、神に仕える人が味わえる幸せについても考えないようにしていました」。でも今は兄弟姉妹と一緒にエホバを崇拝し、信仰を強めるのに必要なものを十分に得ています。こう言います。「エホバの温かい家族に囲まれて生きられるのは最高に幸せなことです」。

どのように答えますか

1. 私たちはどんな意味でパラダイスにいるといえますか。

・ S02 サタンはこの世界を憎しみと悪意に満ちた危険な場所に行っているが、エホバはご自分に仕える人を愛しているので、私たちが安心して崇拝を行えるように、パラダイスのような環境を整えている。聖書にもこの環境のことが、安全な「避難」場所、「よく潤っている庭園」と表現されている。

・ S03 イザ 65 章の預言は現代では 1919 年から成就し、大いなるバビロンから解放され、エホバを安心して崇拝できる環境が世界中に広がっていった。人々は王国について熱心に伝え、各地にたくさんの会衆ができました。以前は暴力的で不道德な行いをしていた人たちも、「神の意志に沿って形作られる」「新しい人格を身に着け」るようになった。イザヤの預言に書かれているたくさんの素晴らしいことは、将来新しい世界で文字通り実現するが、今でもそのうちの幾つかを楽しむことができている。

2. エホバに仕える私たちはどんな素晴らしい経験をしていますか。

・ S05-06 十分に養われ、爽やかにされる。私たちには聖なる力、聖書、出版物など、エホバとの絆を強くするために必要なものがたくさん与えられています。それで、私たちは「食べ」、

「飲[み]」、「喜ぶ」ことができる。今エホバは聖書や出版物、ウェブサイト、集会、大会などを通して、まさにそうしてくださっている。

・S07-08 幸せで満ち足りた気持ちでいられる。エホバに仕える人たちは、エホバへの感謝の気持ちにあふれて「喜んで叫[び]」んでいる。エホバを崇拝する人たちの間には、愛と一致という際立った特徴があり、この「絆」は、新しい世界での生活がどんなものになるかをイメージする助けになる。将来、エホバに仕える人たちの愛や一致はさらに強くなっていく。

・S09-10 穏やかな心でいられる。もちろん、神に仕える人たちも心が痛むことやつらい経験を経ることがあっても、そうしたものはやがて「忘れられ、[神]の目から隠され」る、とある通り、エホバは私たちの問題を全て取り除き、つらい記憶も全て消し去ってくださる。今でも、集会へ行くと、この悪い世の中で経験するいろいろなストレスを忘れて心が穏やかになる。私たち一人一人は愛や喜び、平和、親切、温和といった聖なる力が生み出すものを表すように努力することによって、こうした温かい雰囲気にも貢献できる。

・S11-12 喜びを味わえる。エホバを崇拝するこの素晴らしい環境は、エホバがつくったもので、私たちはエホバの家族の中でたくさんの喜びを味わっていて、ほかの人たちにもぜひこの喜びを味わってほしいと思う。私たちはエホバとの絆があるおかげで、将来の素晴らしい希望を持ち、安心して、目的のある充実した人生を送ることができる。

・S13 平和を楽しむことができる。以前は気性が荒かったものの、聖なる力の助けによって大きく変化してきた人はたくさんいる。完璧ではなく時に失敗しもエホバは、愛という強い絆によって「あらゆる人」を一つの家族にし、私たちが平和を楽しめるようにしてくださっている。

3. どうすれば、ほかの人を引き寄せることができますか。

・S16 エホバの家族に加わりたいと思ってもらうために、ぜひエホバに倣い、組織に無理やり加わらせることはせず、優しく「引き寄せ」るようにする。心の正しい人は、エホバの愛情深くて魅力的な性格について知ると、自然とエホバに引き付けられます。私たち自身も魅力的な人になるよう努力し、良いことを行うなら、エホバの家族に加わりたいと思ってもらえる。

・S17-18 古代コリントの人たちは、クリスチャンが集まっている様子を見て、「神は確かに皆さんの中にいます」と言ったように、仲間の兄弟姉妹に愛や親切を示すなら、人々をエホバの側に引き寄せることができる。それで兄弟姉妹に対してエホバと同じ見方をするように努力し、やがてなくなる欠点や短所ではなく、良いところに注目できる。

144 番の歌 報いを見つめて

△ jw.org の「[あの人は今 アレナ・ジトニコバ: わたしの夢はこうして実現した](#)」という動画をご覧ください。姉妹は、エホバに仕えることからどんな幸せを味わっているかを語っています。

△ 写真や挿絵: ほかの兄弟姉妹が集会で会話を楽しんでいる中、1人の兄弟は輪に加わろうとしていない。

△ (イザ 65:18) 私が創造しているものについて歓喜し、永遠に喜びなさい。私はエルサレムを喜びのもととして、住民を歓喜のもととして創造しているのである。